

# 学校評価総括表

## 令和5年度重点目標

- 1 一人ひとりを大切にする学級・学部・寄宿舍・学校運営
- 2 児童生徒の可能性を引き出す授業・教育活動
- 3 自立と社会参加につながるキャリア教育
- 4 健康・安心・安全な学校づくり
- 5 ダイバーシティ社会実現に向けた連携・協働
- 6 働き方改革の推進

# 令和5年度学校評価総括表

## 重点目標 (1) 一人ひとりを大切にする学級・学部・寄宿舎・学校経営

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
<p>人権意識に基づく児童生徒指導の徹底</p> <p>【人権・生徒指導課】</p>	<p>(1)児童生徒の自尊感情を育み、学習活動への意欲が高まる教育活動を推進する。</p> <p>(2)生徒心得の改定において、生徒や保護者の意見を尊重し、また、保護者や地域の意見も参考にしながら、社会情勢や生徒の実態に合わせた見直しを図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>(1)-1 児童生徒の自尊感情の育成に関する研修会の企画・運営・実施を年1回以上する。</p> <p>(1)-2 市村人研大会の公開授業参観者にアンケートを実施し、指導方法に関する項目で肯定的な意見を80%以上得る</p> <p>(2)-1 高等部保護者と生徒を対象に生徒心得についてのアンケートを1回以上実施する。</p> <p>(2)-2 生徒会、職員会議、PTA役員会、学校運営協議会等において、生徒心得についての意見を聞き、検討する機会を1回以上設ける。</p> <p>活動計画</p> <p>(1)-1 外部講師を招聘し、人権教育研修会を実施する。(5月)</p> <p>(1)-2 児童生徒の自尊感情を高めることをねらい、指導方法や学習環境の工夫に焦点を当てた公開授業を実施する。</p> <p>(2)-1 高等部保護者、生徒対象に生徒心得に関するアンケート調査を実施し、集計する。アンケート結果をもとに高等部生徒会による検討会を実施し、生徒の意見を反映する機会を設ける。</p> <p>(2)-2 校内生徒指導委員会、職員会議にて検討する機会を設け、教職員の意見を聴取する。また、PTA役員会、学校運営協議会にて意見を伺い、参考にしながら検討を進めていく。</p>
<p>人権意識に基づく児童生徒指導の徹底</p> <p>【寄宿舎】</p>	<p>(1)基本的な生活習慣を身につけるため、目標を舎生と一緒に考え、主体的に取り組むことができるように支援する。</p>	<p>評価指標</p> <p>(1)-1 舎生一人ひとりの生活目標について、寄宿舎内のグループ担任、学級担任、保護者それぞれとの話し合いの機会を年1回以上もつ。</p> <p>(1)-2 舎生が意欲を持って主体的に取り組める目標を指導員と一緒に立てる。(年間2回前期・後期)</p> <p>(1)-3 各自の頑張りを振り返る機会をもつ(適宜)</p> <p>活動計画</p> <p>(1)-1 アセスメントを基に、グループ担任者で話し合い、達成可能な生活目標を検討する。学級担任や保護者とも話し合いの場を設定し共通理解を図る。(5月)</p> <p>(1)-2 グループ担任で話し合った目標の中から、個々に合った目標を、舎生と一緒に決める。(5月・10月)</p> <p>(1)-3 スマイルプロジェクトで取り組み、目標達成時には舎生全体で成果を確認する機会をもつ。</p>

## 重点目標 (2) 児童生徒の可能性を引き出す授業・教育活動

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
<p>実態や特性等に 応じたわかり やすい授業実践 と授業改善</p> <p>【小学部】</p>	<p>(1)児童の一人一人の 発達段階と課題、 目標について、共 通理解を図り、チ ームアプローチで 授業計画、実践、 改善を行う。</p>	<p>評価指標</p> <p>(1)-1 自立活動推進委員会を年3回以上実施し、自立活動の時間における指導について、学部全体の共通理解を図る。</p> <p>(1)-2 個々の児童の実態把握を行い、自立活動シートを作成し、ケース会等を年2回以上実施する。</p> <p>(1)-3 自立活動シートを個別の指導計画に反映し、授業実践、改善につなげる。さらに、短期目標（前後期）の評価について、学部全体で80%以上の目標達成率を得る。</p> <p>活動計画</p> <p>(1)-1 4月の学部会で自立活動の目的や年間計画について共通理解を図る。6月、8月、12月、2月に自立活動推進委員会を実施し、現状と課題を検討し、必要に応じて改善する。また、随時、学部会で共通理解を図る。</p> <p>(1)-2 各学年においてケース会議を実施する。後期からのグループ編成や個々の実態や目標について共通理解を図る</p> <p>(1)-3 個別の指導計画における記録を単元または授業ごとに記録する。記録は、数値評価とエピソード評価の双方から具体的な評価ができるようにし、授業改善に生かす。</p>
<p>実態や特性等に 応じた目標、 支援方法、教材 等によるわかり やすい授業実践</p> <p>【研究課】</p>	<p>(1)校内の希望調査 から校内研修会を 企画・運営し、教 員の専門性向上を 図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>(1)-1 夏季休業中に、校内教員が講師となって実施する校内研修会を、3つ以上企画・運営する。</p> <p>(1)-2 夏季休業中に、県内の特別支援学校等が企画するオンライン(Zoom)研修会について、学校単位で申し込みを行い、運営を行う。</p> <p>(1)-3 外部講師による、学習指導要領に関する校内研修会を年1回以上企画・運営する。</p> <p>(1)-4 研修会事後アンケートにおいて、参加教員の満足度が80%以上となる。</p> <p>活動計画</p> <p>(1)-1 Joruriアンケートまたは聞き取り調査から、職員の希望する研修会を企画する。研修一覧表を作成し、参加者を募る。</p> <p>(1)-2 校内でZoom視聴できる会場を設け、機器接続等の準備、当日運営等を行う。</p> <p>(1)-3 弘済会助成金を活用し、学習指導要領に関する書籍を5冊以上購入する。外部講師と交渉し、日程や研修内容を決定し、当日の運営を行う。</p> <p>(1)-4 Joruriアンケートを活用し、事後アンケートを実施する。集計結果から、次年度への改善点を協議する。</p>
<p>障がい者文化 スポーツに関す る活動への取り 組みを推進する。 【特別活動課】</p>	<p>(1)各学部の活動に おいて、障がい者 スポーツや文化活 動への取り組みを 実施する。</p>	<p>評価指標</p> <p>(1)-1 各障がい者文化スポーツに関する各種行事や講演会等に、各学部2回以上取り組むことができる。</p> <p>活動計画</p> <p>(1)-1 5月に課内で検討会を実施し、各学部の実態に合わせた各種行事や講演会の実施計画を立案する。</p> <p>(1)-2 昨年度、実施していない内容について検討し、優先的に取り入れ実施計画を立案する。</p>

## 重点目標 (3) 自立と社会参加につながるキャリア教育

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
適切な進路を自己決定できるよう環境を整える。 【進路指導課】	(1)企業や関係機関と積極的に連携し、生徒が希望する職業選択の幅を広げ、進路保障の充実を図る。  (2)福祉就労については拡大進路相談の協議を踏まえ、進路保障できるよう、関係機関や地域と連携を図る。	<b>評価指標</b> (1)-1 9月までに高3生徒が就職を希望する企業について8割以上が実習を実施する。 (1)-2 12月までに高2生徒について就職を希望する企業を複数選定し、雇用の見込みがある企業を一人一社以上、情報を提供できるようにする。 (2)-1 高3生徒について拡大進路相談で進路希望とされた事業所で6月中までに8割の生徒が実習を実施する。
		<b>活動計画</b> (1)-1 これまでに生徒が実習した会社や同じ職業の会社について、実習ができるよう8月中までに連絡調整する。 (1)-2 生徒に提供できる十分な情報を獲得するため、ハローワークや就業・生活支援センター、市町村および他特別支援学校に協力を求めるとともに、就職説明会や面接会などに積極的に参加する。 (2)-1 高3生徒の進路決定のため、5月中に保護者、事業所、学校、関係機関との連絡調整にあたり、就業体験ができる環境を整える。

## 重点目標 (4) 健康・安心・安全な学校づくり

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
健康・安心・安全な学校づくり 【安全課】	(1)防災計画に基づいて避難訓練を計画する。  (2)食育の推進を図る。	<b>評価指標</b> (1)-1 学校防災計画の目的の基に、避難訓練を年3回計画し、地震・火災・洪水等偏りなくできるよう工夫する。 (1)-2 年3回の避難訓練の内1回は、新しい避難場所への避難訓練ができるよう計画・実施する。 (2)-1 食育月間及び給食週間を年1回ずつ実施し、食への関心を引き出す。
		<b>活動計画</b> (1)-1 学校防災計画を作成し、Joruriに掲示し教職員に確認してもらう。第1回避難訓練（地震・火災）においては、全児童生徒が避難できるように計画する。第2回の避難訓練（地震・火災）においては、煙体験ができるよう計画する。第3回の避難訓練（地震・洪水）において建物の2階以上に避難することができるように計画する。 (1)-2 新しい避難場所への避難経路を確認し、安全に避難できるよう検討する。 (2)-1 食育週間（6月）を新たに設置し、給食で使用されている県産野菜等の献立を紹介したり、食に関するクイズを出題したりする動画を作成し、各学部で視聴する計画を立て、食育に取り組む。給食週間（1月）では、給食ポスターや調理員さんへの感謝の言葉等、食育に関するパネルを展示する。

PTA活動や教育活動、校内の環境等についての情報発信を行う。 【渉外課】	(1)PTA活動や教育活動、新築・改築工事に伴う校内の環境や影響等について、適切な情報発信を行い、安心・安全に過ごせる学校を目指す。	<b>評価指標</b> (1)-1 PTA活動について、年3回以上、HPで発信する。 (1)-2 PTA会長の協力を得て、保護者目線から必要と思われる情報（教育活動、新築・改築工事に伴う校内の環境や影響等）を、HPで発信する（年3回以上）。
		<b>活動計画</b> (1)-1 PTA活動の紹介やWeb研修会の案内等について、HPで発信する。 (1)-2 行事の様子をHPで紹介したり、新築・改築工事に伴う校内の環境や影響について、写真を撮ってHPに載せたりし、校内の様子についての理解が進むよう、情報を発信する。

## 重点目標 (5) ダイバーシティ社会実現に向けた連携・協働

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
地域の人材や資源を活用した教育活動を推進し、新しい教育課程の検討に取り組む。 【中学部】	(1) 中学部における地域の人材や資源を活用した特色ある学習活動(陶芸・藍に関する学習・地域交流学習)を総合的な学習の時間に位置付け、計画実施する。	<b>評価指標</b> (1)-1 総合的な学習の時間の目標・学習活動など中学部における年間計画案を作成する。 (1)-2 各学年の総合的な学習の時間の教科担当者を決定し、学部目標に基づき3学年教科担当者で年間計画を検討・立案する。 (1)-3 各学年の総合的な学習の時間において、地域の人材や資源を活用した学習活動を年間10時間以上実施する。  <b>活動計画</b> (1)-1 4月に、昨年度の実施内容などを振り返り、今年度の総合的な学習の時間の目標・年間の学習活動に関する概要などについて整理し、学習計画案を作成する。 (1)-2 5月に、3学年の総合的な学習の時間の教科担当者で、学部目標の共通理解や年間計画を検討および決定するための会議を計画実施し、各学年の年間計画を作成する。 (1)-3 年間を通して、陶芸・藍に関する学習・地域交流学習(地域清掃・ふらっとKOKUFUを活用した学習活動)などの本校中学部における特色ある学習活動を計画実施する。
ダイバーシティのモデル校として地域一体型のキャリア教育を進めるための新たな教育課題を見つける。 【高等部】	(1) ふらっとKOKUFUと地域連携した教育活動を実施する。	<b>評価指標</b> (1)-1 ふらっとKOKUFUと、月2回連絡調整を図る。 (1)-2 ふらっとKOKUFUと連携した授業を、各学年週2時間以上実施する。 (1)-3 昨年度の計画表を基に、年3回計画表を見直し、新たな計画表を検討する。  <b>活動計画</b> (1)-1 農福連携担当者をおく。ふらっとKOKUFUとの連携をスムーズにするため、連絡調整を定期的に行い、お互いの日程調整や学習（作業）内容の意見が交換を行う。 (1)-2 農福連携担当者からの連絡調整を受けて、作業学習担当者、教務課で、授業計画を立てる。 (1)-3 長期休業前に、ふらっとKOKUFUと農福連携担当者、各学年の担当者で、計画表の見直し評価を行い、次の計画表を作成する。

<p>HP活用と情報発信のための更新の推進 【情報教育課】</p>	<p>(1)学校HP上のフォルダの見直しと学部や校務の最新情報の更新を適宜行う。</p>	<p><b>評価指標</b></p> <p>(1)-1 学校HP上にある校務用フォルダの更新状況を確認し、年2回以上、フォルダの整理をする。 (1)-2 更新のための手順書を作成する。 (1)-3 更新のための研修を、各学部1回以上行う。 (1)-4 定期的（2ヶ月に1回程度）に更新を依頼する。</p> <p><b>活動計画</b></p> <p>(1)-1 校務用フォルダの更新状況を確認し、情報発信が必要な校務に声をかける。半年程度更新ができていない校務には有無を聞きフォルダが必要なければ削除する。 (1)-2 共有フォルダに、更新のためのわかりやすい手順書を作成する。Joruri等で案内をし、活用してもらうようにする。 (1)-3 更新のために必要な知識・手順の研修を行う。必要な方には個別に対応する。 (1)-4 学部と校務の更新チェックを行う。更新できていない時は、学部長・課長等に更新をお願いする。</p>
<p>センター的機能の充実及び地域の学校等との連携 【地域支援課】</p>	<p>(1)センター的機能を発揮し、地域の学校等の状況把握に努め、特別支援教育に関する相談や支援の手立て等の情報を伝える。</p>	<p><b>評価指標</b></p> <p>(1)-1 学校見学や体験入学、公開研修会や担任者研修会を通じて、地域の学校等の状況把握を行い、教育相談や支援の一助へとつなげる。</p> <p><b>活動計画</b></p> <p>(1)-1 年度当初に地域の教育機関等に向けて本校の相談業務を紹介する。 (1)-2 保育所や学校等のニーズに対応し、巡回相談を行う。 (通年) (1)-3 公開研修会参加者や学校見学実施の就学希望者へ巡回相談を案内する。 (1)-4 学校HP上で教材や指導の手立て等について情報発信する。</p>

## 重点目標 (6) 働き方改革の推進

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
<p>会議や業務の効率化による授業準備時間の確保 【教務課】</p>	<p>(1)業務内容の精選やマニュアル化、電子入力化を進め、授業準備のための時間を確保しやすくする。</p>	<p><b>評価指標</b></p> <p>(1)-1 業務内容の整理やマニュアルの改訂を年2回以上行う。 (1)-2 教務日誌を手書きから電子入力に変更し、より使いやすいよう改訂を1回以上行う。</p> <p><b>活動計画</b></p> <p>(1)-1 課会で、業務内容一覧を基に、課内業務の整理・追加・訂正について話し合う。現行のマニュアルも長期休業中に改訂する。 (1)-2 4月から教務日誌を電子入力できるようにし、加筆・訂正をしやすくする。改訂を行いながら、早くて正確な教務日誌の作成を行う。</p>